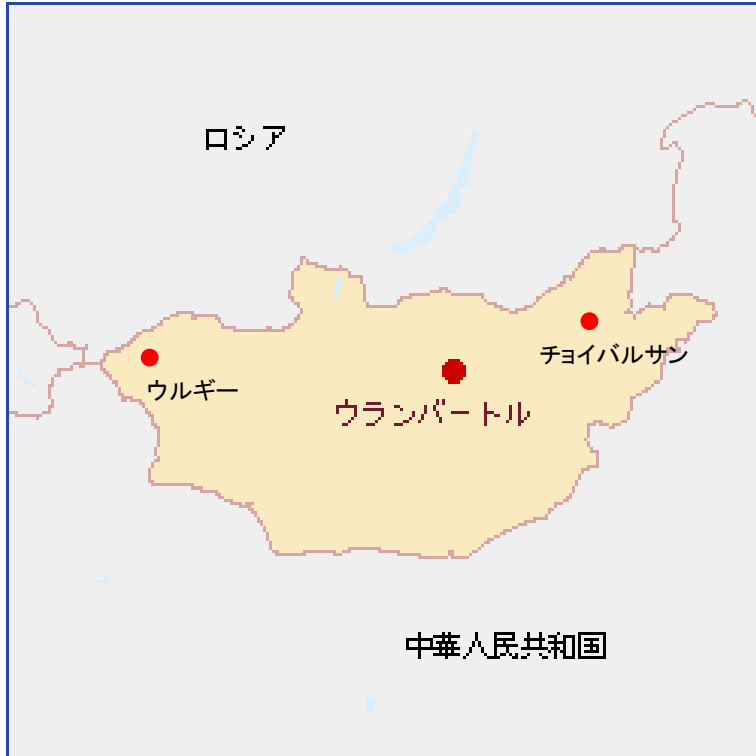
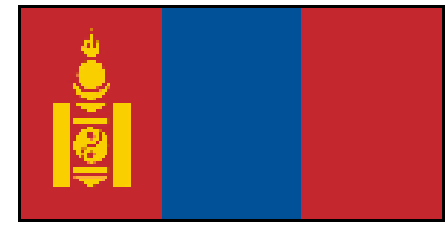


# モンゴルについてご案内



# 1-1. 国の概要 一般情報



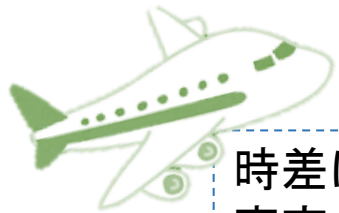
\*人口 約354万人(2024年)

\*面積 156万4,100km<sup>2</sup>(日本の約4倍)

\*宗教 チベット仏教など

\*公用語 モンゴル語、カザフ語

\*政治体制 共和制  
(大統領制と議院内閣制の併用)

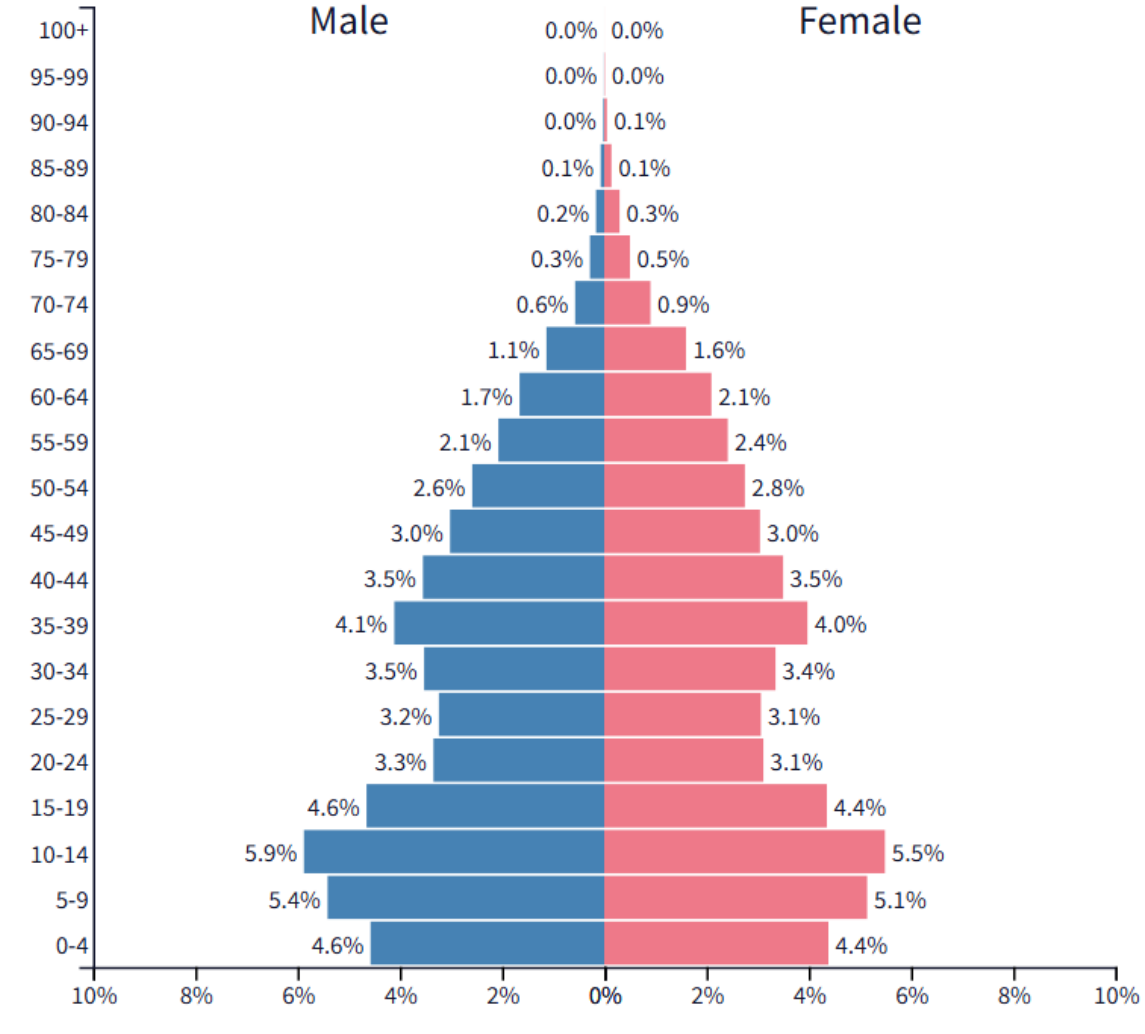


時差は-1時間(ウランバートル)  
東京から直行便で約5時間

西部ウルギー:-2時間  
東部チョイバルサン:-1時間

# 1-2. 国の概要 経済状況

- \* 主要産業 鉱業、牧畜業、流通業、軽工業
- \* 名目GDP 約235,8億米ドル(2024年)
- \* 一人あたりGDP 6,898米ドル(2024年)
- \* 経済成長率 4,9%(2024年)
- \* 失業率 5,9%(2024年)
- \* 若年失業率 11,7%(2025年)
- \* 基本給月額 580米ドル(製造業 一般工職)  
(2023年)



(2026年4月16日確認)

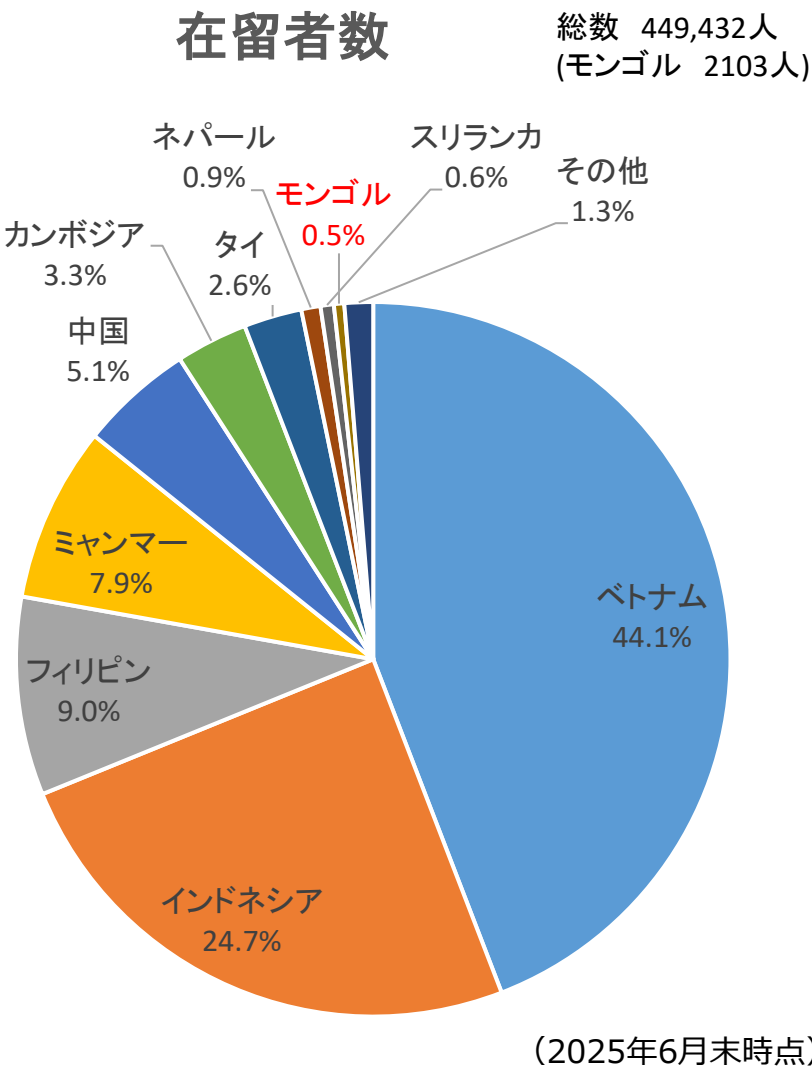
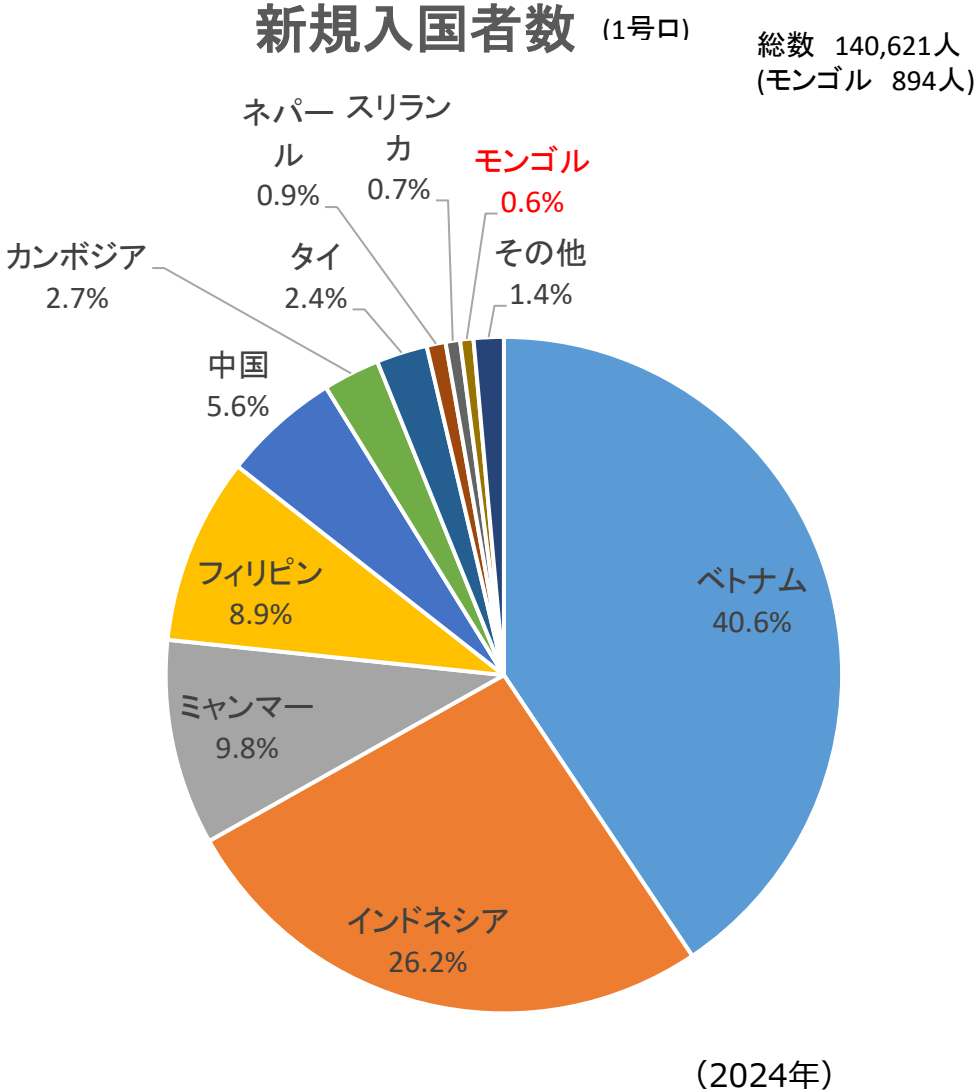
# 1-3. 国の概要 文化



## 2-1. 技能実習制度における現状

技能実習制度	
政府窓口	モンゴル労働・社会保障省 (MLSP) 雇用政策推進調整局
二国間協定締結	2017年12月21日
認定送出機関数	66 (2025年10月現在)
入国者数	894人 (2024年) 構成比 0.6%
在留者数	2103人 (2025年6月末時点) 構成比 0.5%

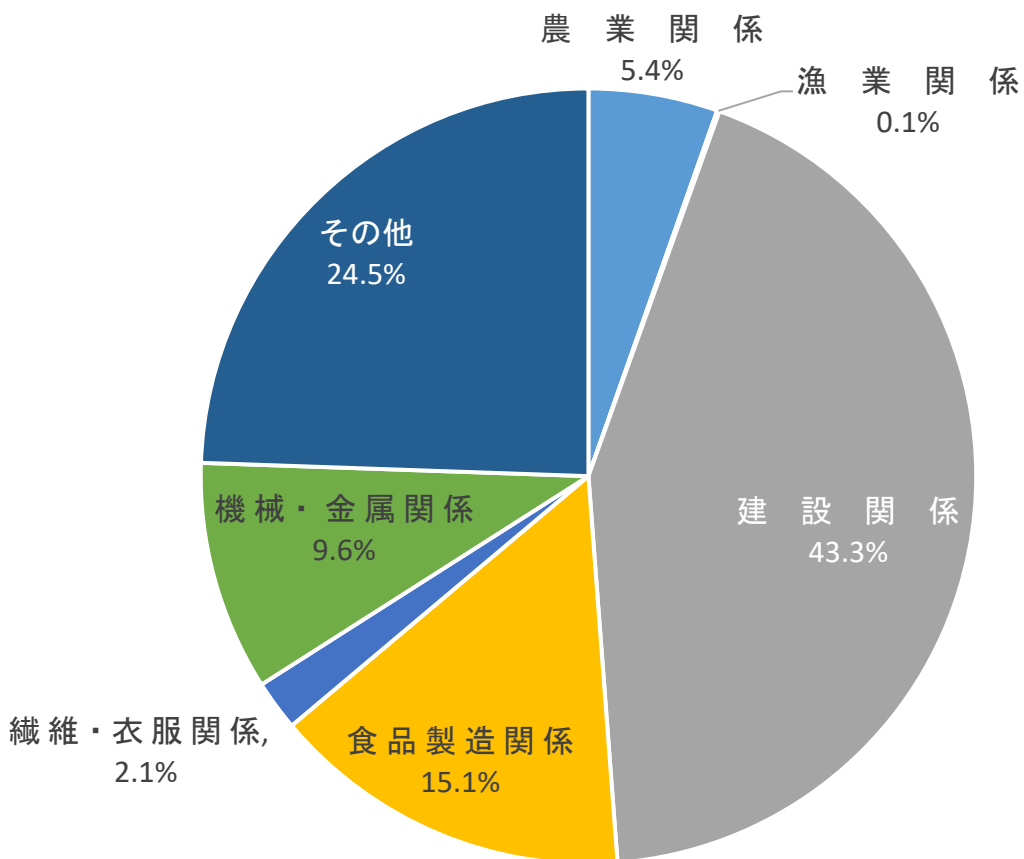
# 2-2. 技能実習制度における現状



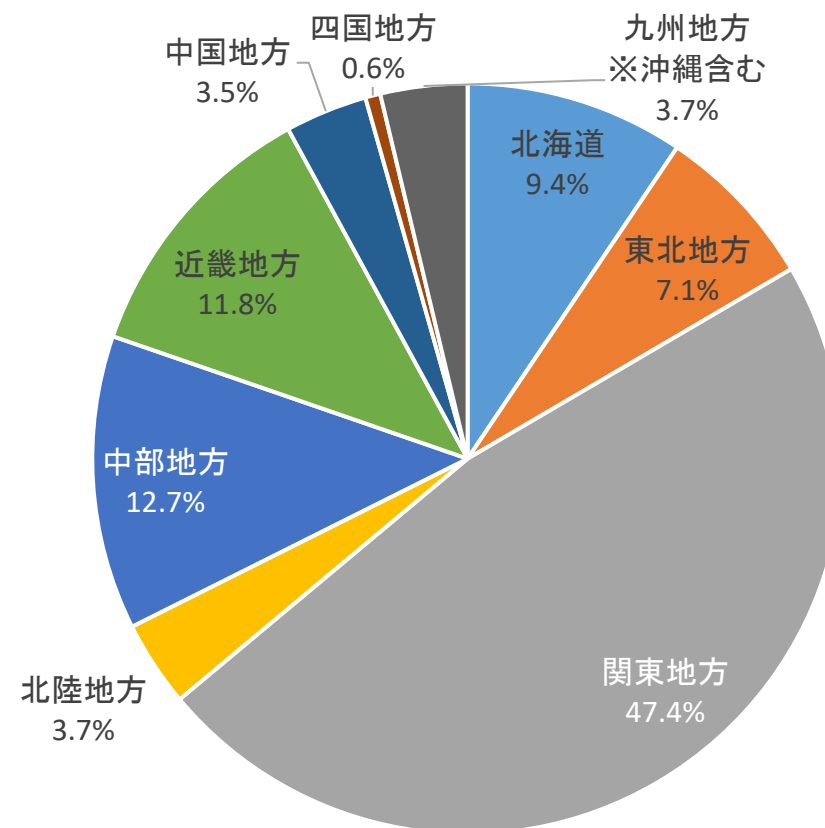
< 出典: 出入国在留管理庁 >

## 2-3. 技能実習制度における実績

### 職種別



### 地域別



2022年度 1号団体監理型認定申請件数 (全体件数: 2,004件)

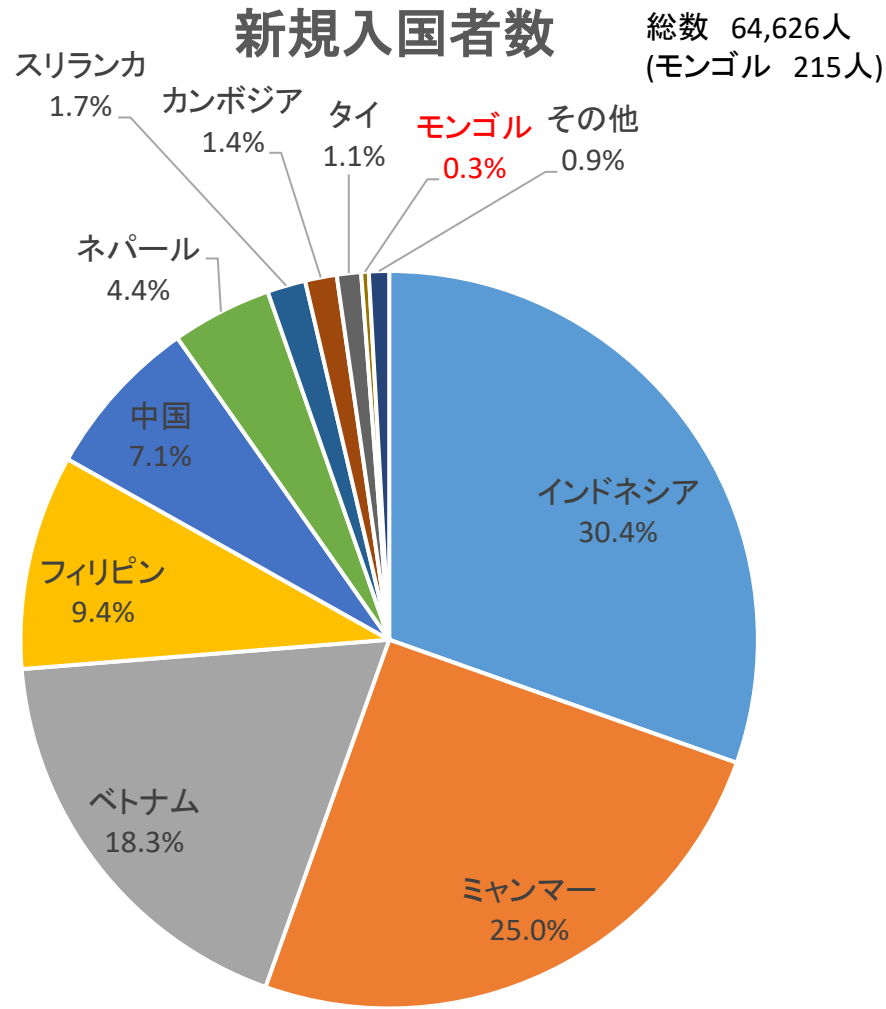
<出典:外国人技能実習機構>

## 2-4. 特定技能制度における現状

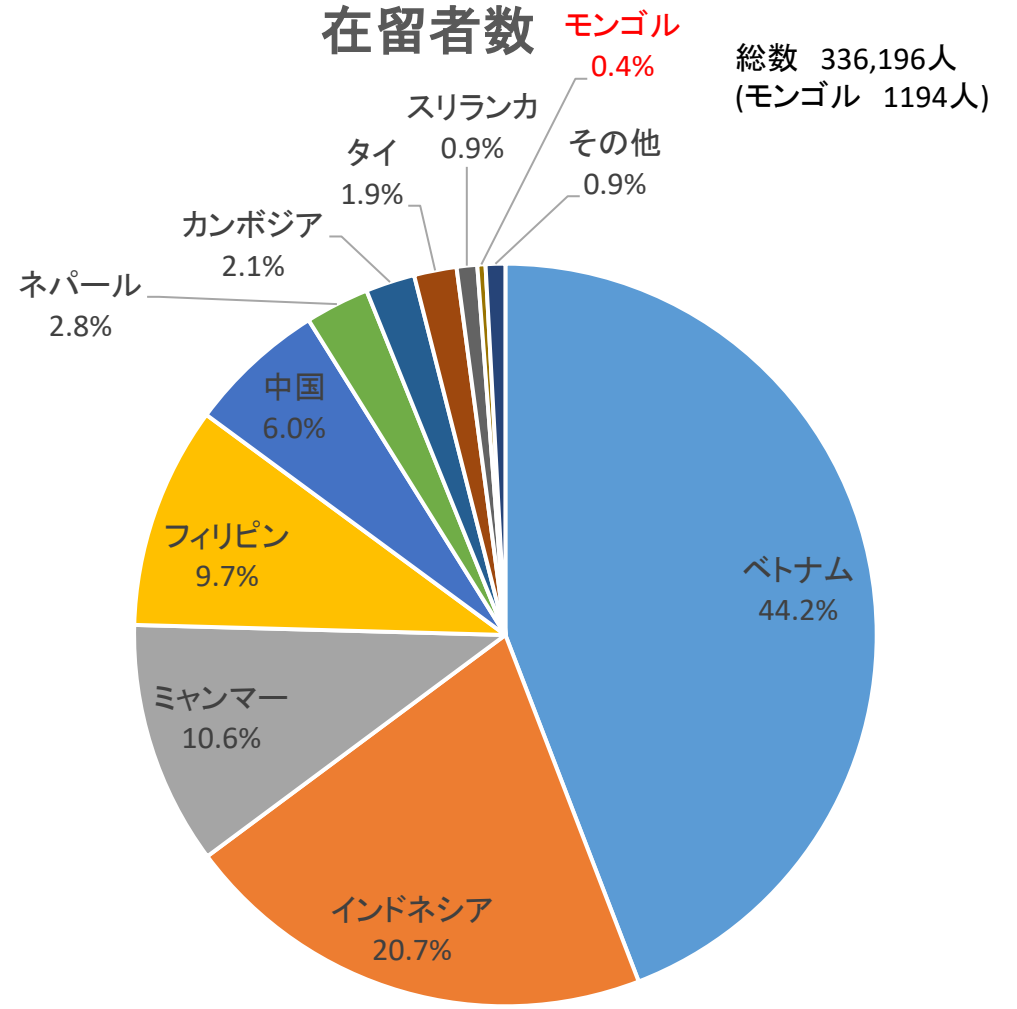
特定技能制度	
政府窓口	モンゴル労働・社会保障省 (MLSP)
二国間協定締結	2019年4月17日
入国者数	215人 (2024年) 構成比 0.3%
在留者数	1194人 (2025年6月末時点) 構成比 0.4%

モンゴル労働・社会保障省  
労働・福祉サービス庁  
(GOLWS)が唯一の送出国機関

## 2-5. 特定技能制度における現状



(2024年)

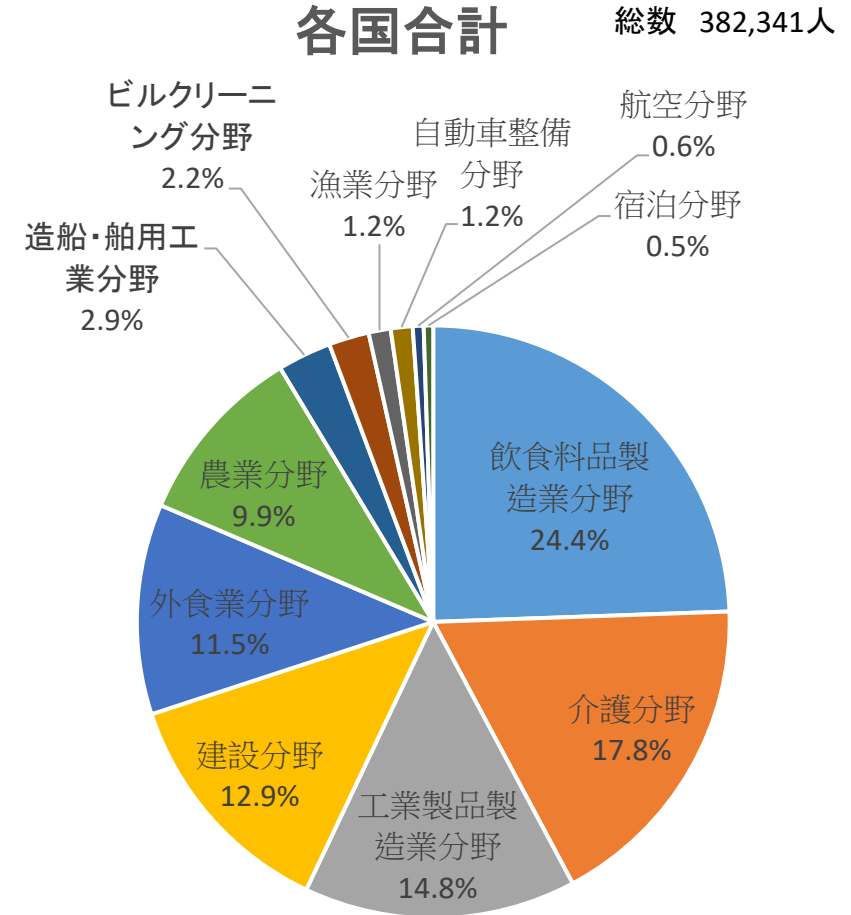
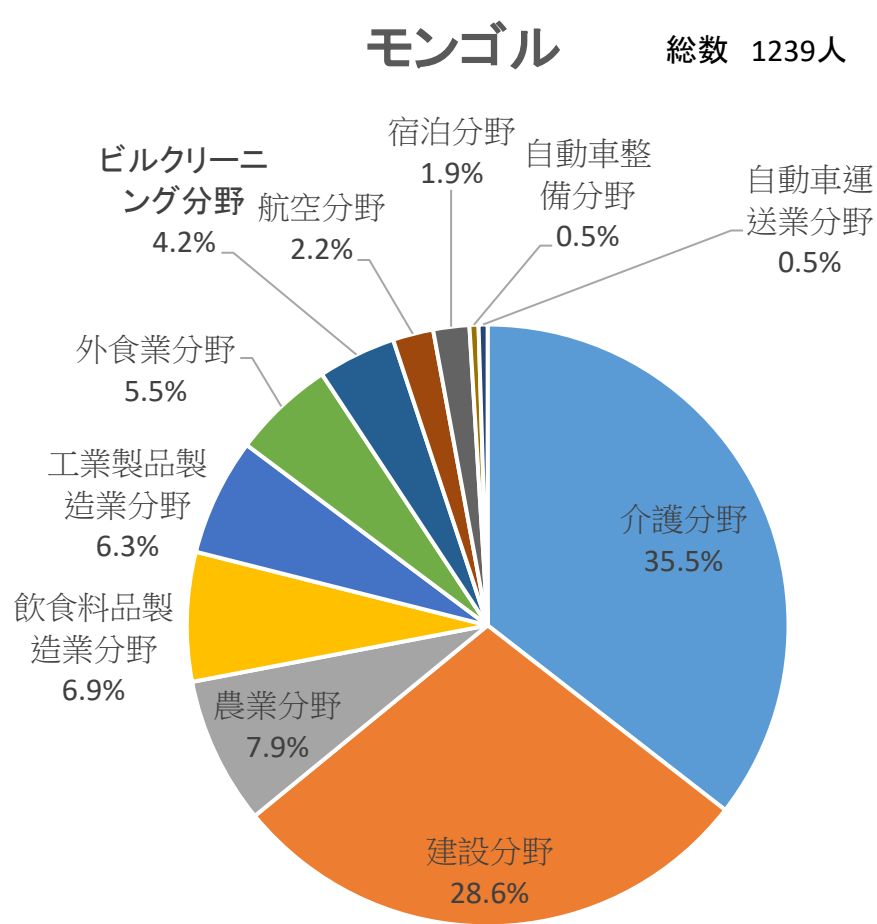


(2025年6月末時点)

< 出典: 出入国在留管理庁 >

## 2-6. 特定技能制度における実績

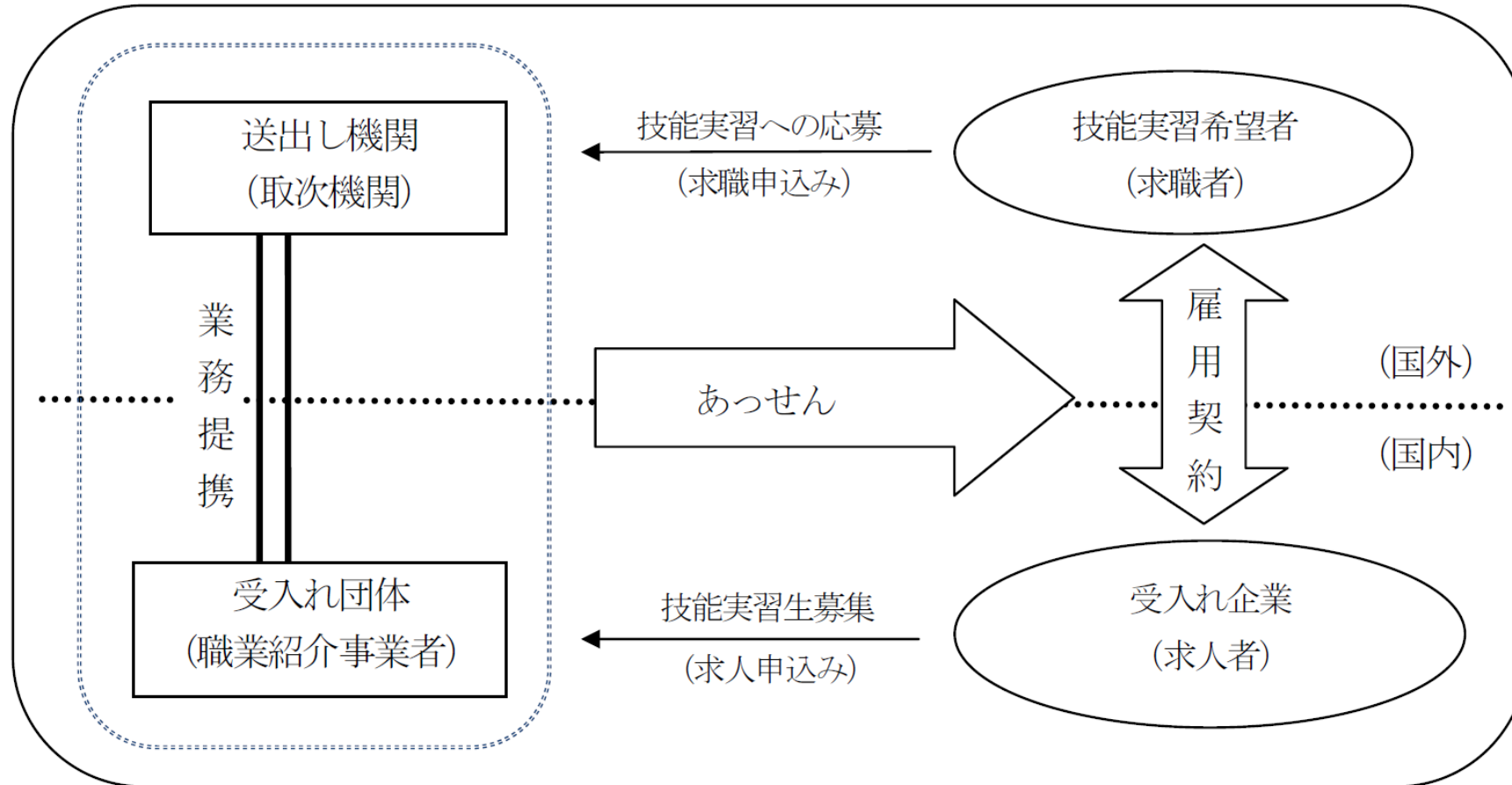
### 特定技能1号外国人人数(分野別) 2025年12月末時点



造船・船用工業分野、鉄道分野、漁業分野、林業分野、木材産業分野での在留者は0名。

<出典:出入国在留管理庁>

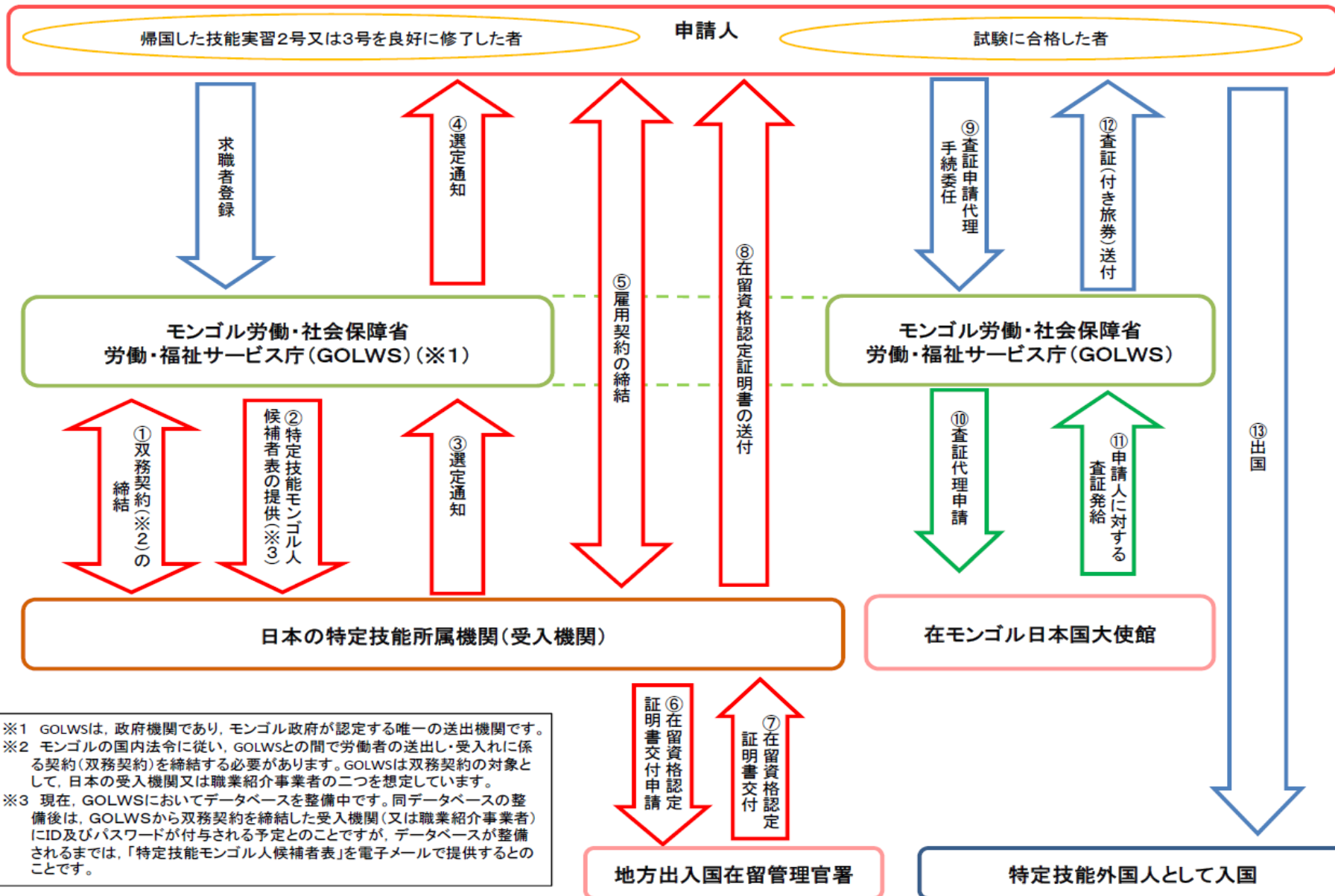
# 3-1. 技能実習制度における受入れ手続き



## 3-2. 特定技能制度における受入れ手続(モンゴルから新たに受け入れる場合)

モンゴル特定技能外国人に係る手続の流れについて モンゴルから新たに受け入れる場合（受入機関用）

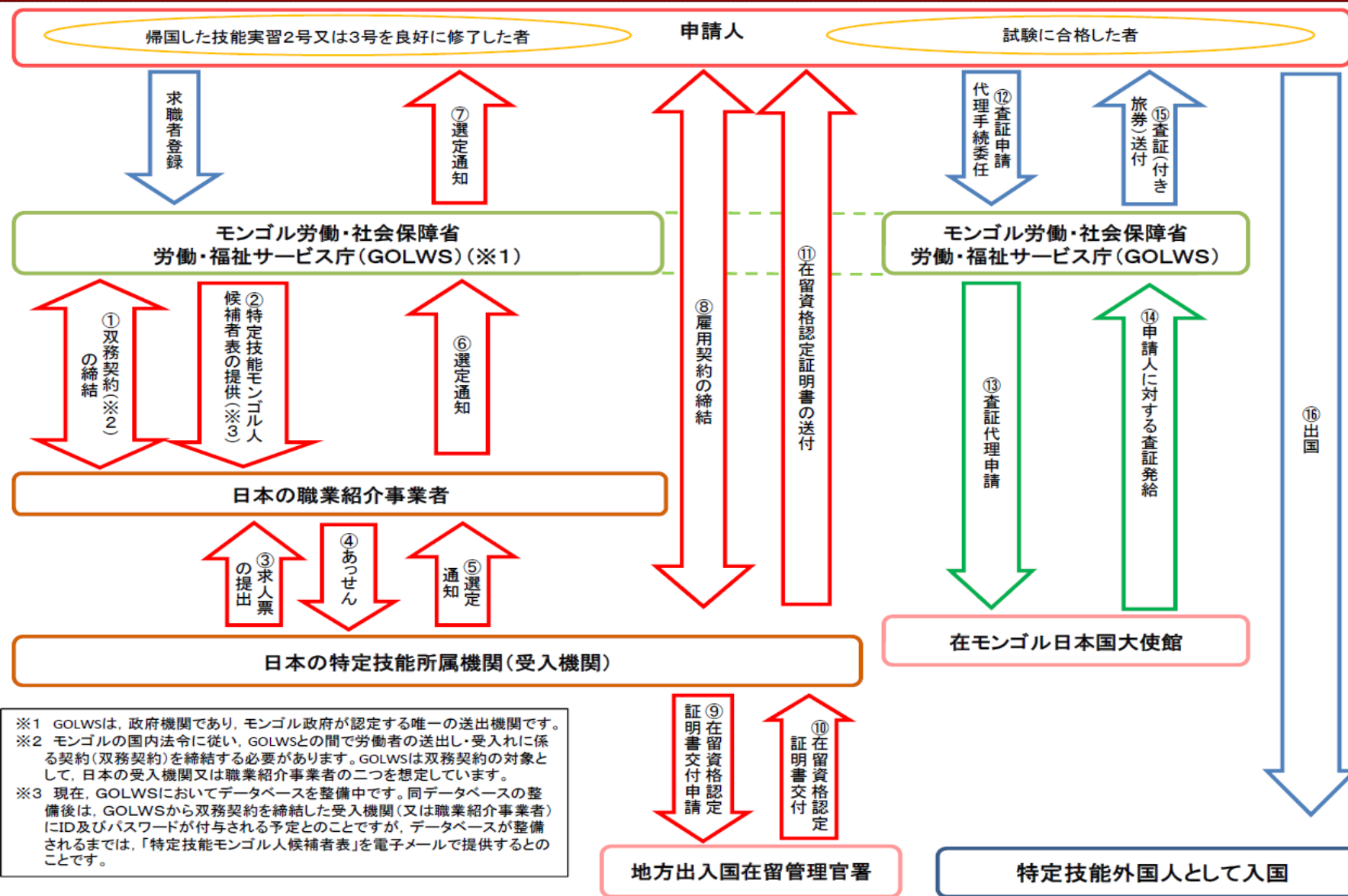
<出典:出入国在留管理庁>



※1 GOLWSは、政府機関であり、モンゴル政府が認定する唯一の送出機関です。  
 ※2 モンゴルの国内法令に従い、GOLWSとの間で労働者の送出し・受入れに係る契約(双務契約)を締結する必要があります。GOLWSは双務契約の対象として、日本の受入機関又は職業紹介事業者の二つを想定しています。  
 ※3 現在、GOLWSにおいてデータベースを整備中です。同データベースの整備後は、GOLWSから双務契約を締結した受入機関(又は職業紹介事業者)にID及びパスワードが付与される予定とのことですが、データベースが整備されるまでは、「特定技能モンゴル人候補者表」を電子メールで提供するとのことです。

# 3-2. 特定技能制度における受入れ手続(モンゴルから新たに受け入れる場合) (職業紹介事業者用)

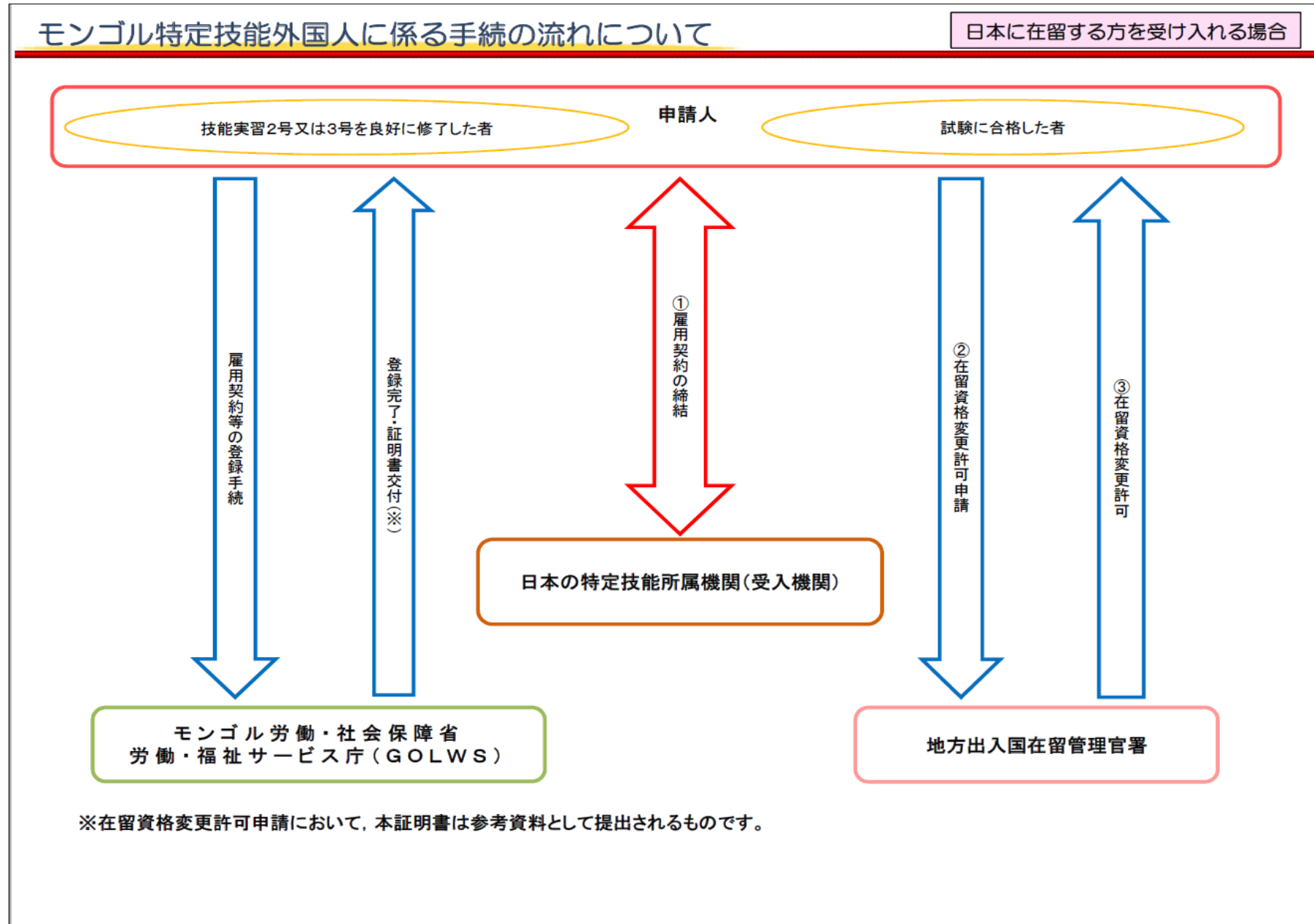
モンゴル特定技能外国人に係る手続の流れについて モンゴルから新たに受け入れる場合(職業紹介事業者用)



※1 GOLWSは、政府機関であり、モンゴル政府が認定する唯一の送出機関です。  
 ※2 モンゴルの国内法令に従い、GOLWSとの間で労働者の送出し・受入れに係る契約(双務契約)を締結する必要があります。GOLWSは双務契約の対象として、日本の受入機関又は職業紹介事業者の二つを想定しています。  
 ※3 現在、GOLWSにおいてデータベースを整備中です。同データベースの整備後は、GOLWSから双務契約を締結した受入機関(又は職業紹介事業者)にID及びパスワードが付与される予定とのことですが、データベースが整備されるまでは、「特定技能モンゴル人候補者表」を電子メールで提供することです。

<出典:出入国在留管理庁>

## 3-2. 特定技能制度における受入れ手続(日本に在留する方を受け入れる場合)



ご視聴ありがとうございました。

公益財団法人 国際人材協力機構(JITCO)  
国際部 国際課 TEL: 03-4306-1151